

はじめに

秋田県健康環境センターは、県民の皆様の生活と健康を守ることを使命として平成 18 年に設立された衛生行政・環境行政における科学的・技術的中核機関です。

この使命を果たすため、当センターでは感染症のまん延防止や食品・生活環境などの健康リスクに関する試験検査・調査研究はもとより、未知の病原体や新たな環境問題等がもたらす影響についての情報収集・解析を行うとともに、こうした情報の県内関連機関への技術指導や県民への周知・啓発に日々取り組んでいます。

このたび、当センターが令和 3 年度に行った試験検査業務の実績や調査研究の成果等を年報として取りまとめましたので、多くの皆様に御活用いただければ幸いです。

令和元年 12 月に発生が報告された COVID-19（新型コロナウイルス感染症）は、県民生活に多大なる影響を及ぼしており、その動向については今なお県民の大きな関心事となっています。

当センターでは、検査体制の早期構築及び検査機器の新規整備によって検査機能を強化し、急増した検査需要に的確に対応するとともに、感染・伝播性の増大等が懸念される変異株の感染状況の早期把握に努めています。

また、安全で安心な暮らしを求める県民の多岐にわたる声に従い、食中毒原因菌や食品残留農薬から水質汚濁や環境放射能に至るまで様々な分野における試験検査についても、その結果の信頼性が高まるよう、検査手法の研究や改良に励んでいるところです。

年報に掲載した調査研究等の成果は、関係機関と連携し衛生及び環境に関する政策へ反映させるとともに、ウェブサイトへの掲載等を通じ、県民の皆様に分かりやすく伝えてまいります。

当センター職員一同、新たな感染症の発生や最新の環境問題の動向を注視しつつ、今まで以上に広く県民の皆様の要望に応えられる機関となるよう努力してまいりますので、引き続き御指導御鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

令和 4 年 12 月

秋田県健康環境センター所長 佐藤 和彦